

# キウイフルーツで地域外の人たちと ともにつくる「田原地区」

～田原アグリサポート協議会（奈良市）～

## 新たな特産品の開発へ

奈良市中心部に近く、住民の多くが兼業農家や非農家である奈良市田原地区では、人口減少や少子高齢化の影響で、耕作放棄地の増加が大きな問題となっています。

この問題を解決するため同地区では、農業所得の向上と耕作放棄地の解消を目標に、「奈良市元気なら農業活性化プロジェクト」を令和4年度から開始しました。

数ある活動の中でも力を入れたのは、耕作放棄地で鳥獣被害の少ない果樹であるキウイフルーツの試験栽培で、現在は90aまで拡大しています。そして、この取組は令和7年度から田原アグリサポート協議会が引継いでいます。



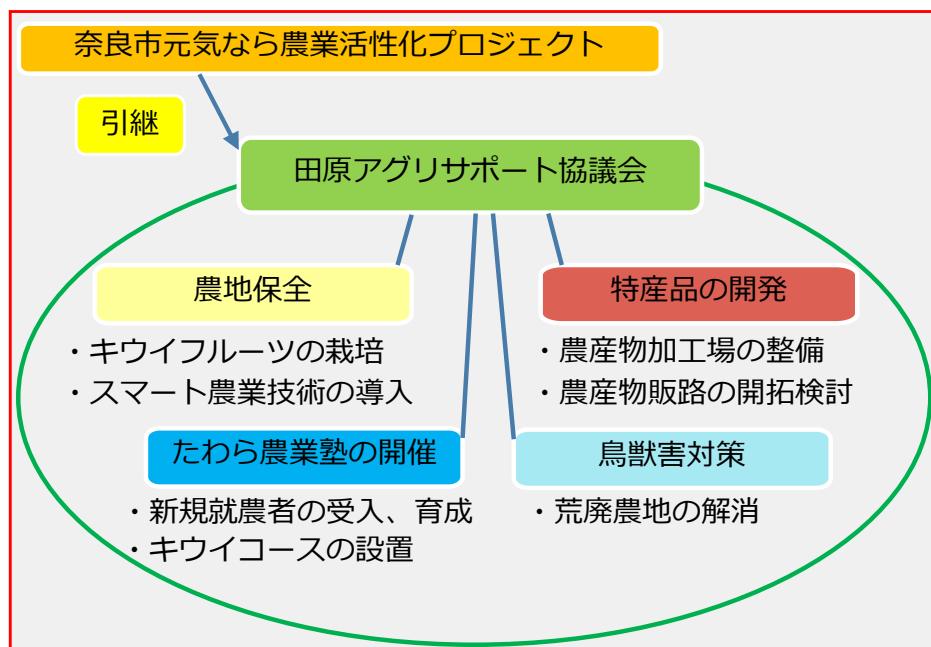
キウイフルーツ植え付けイベント

## 農業者以外も巻き込んでキウイフルーツに挑戦

これまで栽培したことのないキウイフルーツの栽培にあたり、苗木の植え付けを行う際にはイベントを企画し、地域外の人たちへも参加を呼び掛けることで田原地区に関心を持ってもらうことに繋がり、これまで実施した植え付けイベントでは、同地区内外から延べ230名の参加がありました。植え付けたキウイフルーツの収穫が令和7年度から始まり、今後は年々収穫量が増加していく見込みとなっています。



初収穫を迎えたキウイフルーツ



## 新たな産地づくりを目指す

田原地区内で更なるキウイフルーツの拡大を図るため、同協議会では、令和7年度から同地区内で水稻や野菜等の栽培に取り組みたい方を対象とした「たわら農業塾」の中にキウイフルーツコースも設置しました。

令和7年度は4組5名の受講者がキウイフルーツ栽培に取り組んでおり、今後は同地区的キウイフルーツの栽培による新規就農者の獲得に伴い、キウイフルーツが新たな特産品になることが期待されます。



「たわら農業塾」で学ぶ受講者